

原料費調整制度による適用ガス料金の調整について (平成29年1月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成29年1月に適用する1㎡当たりの単位料金を、平成28年12月検針分に適用の料金に比べ1.09円(消費税込)上方に調整させていただきます。

調整は、検針月の3か月前から5か月前まで(中2か月)の3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、平成29年1月検針分の単位料金は、平成28年8月から平成28年10月の平均原料価格に基づき算出しました。

この結果、1か月に32㎡(45MJ/㎡)のガスをお使いになる標準家庭で、平成28年12月検針分に比較して、35円(消費税込)ガス料金が上がります。

供給約款料金表 (消費税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (円/月)	単位料金 (円/㎡)		基準単位料金 (円/㎡)
			平成29年1月適用 単位料金(円/㎡)	平成28年12月適用 単位料金(円/㎡)	
料金表A	0㎡から20㎡まで	799	159.19	158.10	157.09
料金表B	20㎡をこえ50㎡まで	1,305	133.86	132.77	131.76
料金表C	50㎡をこえ200㎡まで	1,602	127.92	126.83	125.82
料金表D	200㎡をこえ450㎡まで	3,155	120.16	119.07	118.06
料金表E	450㎡をこえ750㎡まで	5,303	115.38	114.29	113.28
料金表F	750㎡をこえるもの	10,649	108.26	107.17	106.16

標準家庭における影響 (消費税込)

1か月のご使用量	平成29年1月検針分の料金	平成28年12月検針分の料金	影 響 額
32㎡ (45MJ/㎡)	5,588円	5,553円	35円

原料価格の変動

基準平均原料価格 (a)	34,700 円/t
平成28年8月～平成28年10月の 平均原料価格 (b)	37,270 円/t
LNG価格	36,900 円/t
LPG価格	35,410 円/t
差 額 (b-a)	2,570 円/t

[参 考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³当たりの単価）を調整する制度です。
- ・ 基準平均原料価格（34,700円/t）と「平均原料価格（料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.08424円（0.078円に1.08（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が55,520円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は55,520円としてガス料金の調整を行います。

単位料金調整額の算定方法

- ・ 平均原料価格の算定

	LNG平均価格	（貿易統計ベース）	36,900 円/t	×	0.9608
+	LPG平均価格	（貿易統計ベース）	35,410 円/t	×	0.0513
			37,270.053 円		
			↓（10円未満四捨五入）		
			37,270 円/t		

- ・ 原料価格変動額の算定（基準平均原料価格 34,700円/tからの変動額）

$$37,270 \text{ 円/t} - 34,700 \text{ 円/t} = 2,570 \text{ 円/t}$$

↓（100円未満切り捨て）

$$2,500 \text{ 円/t}$$

- ・ 単位料金調整額（1m³当たり調整額）の算定

$$\text{単位料金調整額} = 2,500 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.08424 = 2.106 \text{ 円}$$

↓（小数点第3位以下切り捨て）

$$2.1 \text{ 円}$$